



報道機関 各位

公立大学法人大阪市立大学

全国同時七夕講演会 「宇宙から降る素粒子の謎」

一極高エネルギーの宇宙線とその起源一 を開催します

大阪市立大学と大阪市立科学館は、全国同時七夕講演会「宇宙から降る素粒子の謎一極高エネルギーの宇宙線とその起源一」を平成23年7月9日（土）に大阪市立科学館にて開催します。

「全国同時七夕講演会」は世界天文年と定められた2009年より毎年全国各地で開催されています。今年は宇宙から降り注ぐ素粒子『宇宙線』の中でも特に巨大なエネルギーをもつ『極高エネルギーの宇宙線』の研究について、荻尾 彰一先生（理学研究科 准教授）がその魅力や意義を紹介します。

宇宙線は地球の外から常に降りそそぐ素粒子で、その源やどうやってエネルギーを得るかなどが研究されています。その中には巨大なエネルギーをもつ『極高エネルギー宇宙線』が存在します。極めて小さな素粒子に莫大なエネルギーをもたせる仕組みがいったいどんなものなのか、その素粒子が地球の大気に衝突するとどのような反応がおこるのか、天文学・宇宙物理学・素粒子物理学の広い分野から注目されています。

記

1. 日時 平成23年7月9日（土）14:00～16:00（開場13:30）
2. 会場 大阪市立科学館 研修室（大阪市北区中之島4-2-1）
3. 内容 【講師】荻尾 彰一（大阪市立大学 大学院理学研究科 准教授）
【主催】大阪市立大学、大阪市立科学館、(財)大阪科学振興協会、中之島科学研究所、日本天文学会
【共催】天文教育普及研究会
4. 対象 中学生以上
5. 定員 100名（希望者多数の場合は先着順）
6. 参加費 無料
7. 申込み メール（tanabata11@sci.osaka-cu.ac.jp）にてお申し込みください。
メールが使えない場合は、下記問い合わせ先にお電話ください。
8. 問い合わせ

【申込に関する問い合わせ先】

- ・大阪市立大学大学院理学研究科 物理学教室 <http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/phys/tanabata11/>
〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138 TEL: 06-6605-2648, 2540, 2643, 2641
- ・大阪市立科学館 企画広報グループ <http://www.sci-museum.jp>
〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-1 TEL: 06-6444-5656 FAX: 06-6444-5657

以上

【報道に関する問い合わせ先】

大阪市立大学 総務課広報担当 小澤・勝井 TEL: 06-6605-3570 FAX: 06-6692-1295

■全国同時七夕講演会について

ガリレオ・ガリレイが世界で初めて望遠鏡を宇宙に向けてからちょうど 400 年にあたる 2009 年、それを記念して国際連合、ユネスコ、国際天文連合はこの年を「世界天文年」と決めました。それにちなんだ企画として始まった「全国同時七夕講演会」は毎年たくさんの方々が参加しています。今年は東日本大震災の被災地への出前授業・講演も実施する予定です。

■大阪市立科学館へのアクセス

http://www.sci-museum.jp/server_sci/info/access.html

全国同時七夕講演会

「宇宙から降る素粒子の謎」

—極高エネルギーの宇宙線とその起源—

2011年7月9日（土）

午後2時より

大阪市立科学館

大阪市北区中之島4-2-1

講師：荻尾 彰一



大阪市立大学

大学院理学研究科 准教授

【問い合わせ】

大阪市立大学

大学院理学研究科物理学教室

TEL 06-6605-2648, 2540, 2643, 2641

大阪市立科学館

企画広報グループ

TEL 06-6444-5656

<http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/phys/tanabata11/>

主催：大阪市立大学、大阪市立科学館、(財)大阪科学振興協会、
中之島科学研究所、日本天文学会

共催：天文教育普及研究会

全国同時七夕講演会

「宇宙から降る素粒子の謎」

一極高エネルギーの宇宙線とその起源一

参加者募集

2009年は、ガリレオ・ガリレイが世界で初めて望遠鏡を宇宙に向けてからちょうど400年であることを記念し、国際連合、ユネスコ、国際天文連合はこの年を「世界天文年」と決めました。それにちなんだ企画として始まった「全国同時七夕講演会」には、毎年とてもたくさんの方々に御参加いただき、主催者にとっても、楽しい講演会となっています。今年もまた皆様に宇宙の話を楽しんでいただくために、「全国同時七夕講演会」を開くことになりました。この大阪市立科学館での講演会もその1つです。たくさんの方々のご来場をお待ちしております。

- 講師： 荻尾 彰一（大阪市立大学 大学院理学研究科 准教授）
- 演題： 宇宙から降る素粒子の謎 一極高エネルギーの宇宙線とその起源一
- 概要： 宇宙線は地球の外から常に降り注ぐ素粒子です。その源や、どうやってエネルギーを得るかなどが研究されています。なかには、あまりにも巨大なエネルギーと宇宙空間における直進性をもつ『極高エネルギー宇宙線』が存在し、天文学・宇宙物理学・素粒子物理学の広い分野から注目されています。講演では、まず宇宙線とは何かを解説し、最新の『極高エネルギー宇宙線』研究について、その魅力・意義と観測方法、結果について紹介します。

- 日時：平成23年7月9日（土） 14：00～16：00（開場13：30）
- 場所：大阪市立科学館 研修室
（〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-1）
- 対象：中学生以上
- 定員：100名（希望者多数の場合は先着順）
- 参加費：無料
- 申込み：必要（締切り：平成23年7月2日）
電子メール（アドレス：tanaba11@sci.osaka-cu.ac.jp）にてお申し込みください。
電子メールを使えない場合は、下記問い合わせ先へお電話ください。

【問い合わせ】

- 大阪市立大学 大学院理学研究科 物理学教室
<http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/phys/tanabata11/>
〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138
TEL：06-6605-2648, 2540, 2643, 2641
- 大阪市立科学館 企画広報グループ
<http://www.sci-museum.jp>
〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-1
TEL：06-6444-5656, FAX：06-6444-5657



会場へのアクセス：
詳しくは「大阪市立科学館」のホームページをご覧ください。
http://www.sci-museum.jp/server_sci/info/access.html

主催：大阪市立大学、大阪市立科学館、(財)大阪科学振興協会、中之島科学研究所、日本天文学会
共催：天文教育普及研究会